

令和8年5月27日

関係各位

社会福祉法人 釧路愛育協会  
理事長 和田 敏幸

### 職員逮捕事案に関するお詫びと法人運営改善への取組について

このたび、当法人が運営する障がい者支援施設「鶴が丘学園」に勤務する職員が、利用者への暴行容疑により新たに逮捕される事態となり、報道されました。

先日の職員逮捕に続き、重ねてこのような重大な事態を招きましたこと、被害に遭われた利用者様、ご家族の皆様に対し、心より深くお詫び申し上げます。また、関係機関、地域の皆様、ならびに日頃より当法人の運営に対しご指導・ご支援を賜っております関係団体の皆様に、多大なるご心配とご迷惑をおかけしておりますことを、法人を代表して深くお詫び申し上げます。

社会福祉法人には、利用者様の尊厳と権利を守り、安全かつ適切な支援を継続的に提供する社会的責任が求められております。しかしながら、相次ぐ職員の逮捕という今般の事態は、利用者支援に対する信頼のみならず、当法人の運営および組織管理体制に対する社会的信頼をも著しく損なう重大な局面であると認識しており、極めて重く受け止めております。

現在、捜査機関による捜査に対し誠実に協力するとともに、法人内においても事実関係の確認を進めております。また、本件を契機として、支援現場における権利擁護の実践状況のみならず、法人ガバナンス、内部統制、管理監督体制、人材育成体制、および組織内の情報共有体制等について、改めて検証を進めております。

今後につきましては、以下の項目を最優先の重点課題として、再発防止および法人運営の抜本的な刷新に取り組んでまいります。

- ・虐待防止及び権利擁護体制の再構築
- ・管理職を含めた指導監督体制の強化
- ・職員倫理及びコンプライアンス研修の徹底
- ・内部通報及び相談体制の点検
- ・組織的リスクマネジメント機能の強化

利用者様とご家族の信頼回復はもとより、社会福祉法人としての公共性と公益性を改めて自覚し、役職員一同、適正かつ透明性の高い法人運営の実現に向けて、全力を尽くしてまいります所存でございます。

誠に恐縮ではございますが、今後ともご指導を賜りますようお願い申し上げます